

各 位



平成 28 年 3 月 31 日

会社名 株式会社 ワコム  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 山田 正彦  
(コード番号: 6727 東証第一部)  
問合せ先 CFO 安藤 徹  
(TEL 03-5337-6502)

## ワコム、マイクロソフトと共にデジタルペン方式の互換性拡大を促進 “Universal Pen Framework (UPF)” 具体化へ前進

本日、株式会社ワコムは、上記の発表を行いました。詳細は、以下、プレスリリースの内容をご参照ください。なお、現時点で、本合意が直ちに当社の連結業績に重大な影響を与える見込みはありませんが、将来、関連する事業活動の展開により生じうる影響に鑑み、投資者の投資判断に有益と判断し、お知らせするものです。

### ○プレスリリース

株式会社ワコムは、米・マイクロソフト社から「Microsoft Pen」プロトコル<sup>(注1)</sup>のライセンス供与を受けることで合意しました。今後ワコムは、当社独自の「アクティブ ES™ 方式」と「Microsoft Pen」の両方のプロトコルを 1 本のペンに搭載することが可能となります。これにより、マイクロソフト社が新たに提供する Windows Ink を使用する際の利便性も高まり、当社が運営する“Universal Pen Framework (UPF)”<sup>(注2)</sup>は、新たなステージへと前進します。ワコムは今年後半のホリデーシーズンでの導入を目指し、両プロトコルを使用したペンを開発します。

当社代表取締役社長兼 CEO の山田正彦は、次のように述べています。

「業界で最も普及している、マイクロソフトとワコムによるデジタルペンの両プロトコルが、1 本のペンに搭載され、必要に応じて切り替えて使えることは、実に画期的です。複数のプロトコルをサポートすることによって、Windows 10 デバイスをお持ちの方が Windows Ink を使って、メモをとったりクリエイティビティを発揮したり、生産性を上げたりすることが迅速かつ簡単にできるようになります。ワコムは、モバイル機器・サービスに最適のインターフェースツールとしてデジタルペンを訴求しており、人々のクリエイティビティを媒介し、アイデアを書きとめ共有することで進化させるデジタルインクも熟知しています。デジタルペンとインクが持つ魅力によって『デジタル文房具時代』の到来を加速させるために、マイクロソフト社をはじめ、各社と協力していきます。」

マイクロソフト社の Windows Developer Platform 担当コーポレート・バイス・プレジデントの Kevin Gallo 氏は、次のように述べています。

「Windows Ink は、人々が考えたことをすぐさま行動に移すのをお手伝いします。Windows 10 のデバイスでペンを使うと、だれもが楽しく、積極的でクリエイティブに、そして能動的になります。この度の両社合意により、ペン搭載の Windows 10 デバイスをお使いのほぼすべてのお客様が Windows Ink の素晴らしさを体験できることでしよう。」

ワコムは2014年から、「アクティブ ES™ 方式」に基づくソリューションを OEM 各社に提供してきました。一方で、「UPF 2.0」の名のもと、マルチ(複数)プロトコルに対応したペンの開発を進め、タッチコントロール IC メーカー、ディスプレイデバイスメーカー、プラットフォーム開発業者など主要 IT 企業とともに、異なるデジタルペンプラットフォーム間でのインターオペラビリティ(相互に利用できること)の確保に努めてきました。

“UPF 2.0”に準拠した本合意により、ワコムが、「アクティブ ES™ 方式」と「Microsoft Pen」の両方のプロトコルに対応し、お客様の要望にそって自由に選べる、複数のプロトコルに対応したソリューションを製造することが可能になります。これにより、コミュニケーション、感情の表現などからビジネス、教育、エンターテインメントなど、人々の日常生活の様々な面で広範に使いこなせる有用なツールとして、デジタルペンとインクの普及が加速することが期待されます。

ワコムは去る1月7日、デジタルインクの活用を推進する「Digital Stationery Consortium(デジタルステーショナリーコンソーシアム)(DSC)<sup>(注3)</sup>」について、説明会を行いました。デジタルペンのプロトコルに関する本合意は、シンプルで高品質な「デジタルペンとインク体験」の実現へ向けた大きな一歩であり、「Digital Stationery Consortium」においても重要な柱となるものです。

上記の将来見通しは、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

(注1) プロトコル: コンピューター機器間が通信をする際の手順や規約等の決まり事(IT用語)。

(注2) Universal Pen Framework (ユニバーサルペンフレームワーク)(UPF): タブレット、スマートフォン、タッチコントロールIC、OSやアプリケーションなどITメーカー各社間におけるデジタルペンの互換性実現と高性能デジタルペンに関する業界ニーズの高まりに応えた当社の取り組み(2015年1月6日付 当社プレスリリース参照)。

(注3) Digital Stationery Consortium(デジタルステーショナリーコンソーシアム)(DSC): 当社が、2016年1月に開催されたCES 2016(ラスベガス、米国)において発表したデジタル文房具の協会(2016年5月立ち上げ予定)。

以上